

# 2025 年度 グローバル地域文化学部 海外語学プログラム(英語) I・II・III 募集要項

研修校・研修地	単位数	研修期間(予定)	担当者	募集人数	費用
ウェスタン・ミシガン大学 (アメリカ)	9 単位	2025 年 8 月 22 日 - 12 月 7 日	稲垣 俊史	20 - 25 名 (最少催行人員: 10 名)	約 240 万円 (2024 年度実績)

※昨今の世界情勢や円安などの影響により費用が高騰しています。今後も世界情勢や外国為替相場、航空運賃、プログラム費等の変動により、費用に変更が生じる可能性があります。

※研修期間は、現時点での予定であり、今後変更になる可能性があります

説明会に出席できなかった場合など、プログラムの内容に関する質問や個別相談はこちらへ
稲垣 俊史 ( <a href="mailto:sinagaki@mail.doshisha.ac.jp">sinagaki@mail.doshisha.ac.jp</a> )
その他の問い合わせ
グローバル地域文化学部事務室 (月～金:9:00～11:30・12:30～17:00)

## ■科目の取扱い

単位の取扱い	9 単位のうち 1 単位は選択必修科目 B 群(スタディ・アブロード科目群)の単位に充当する。残り 8 単位は選択必修科目 C 群(外国語関連科目群)の英語の単位に充当する。ただし、すでに選択必修科目 B 群にて 1 単位履修済の場合は、9 単位を選択必修科目 C 群(外国語関連科目群)の英語の単位に充当する。
開講年度・学期	2025 年度 秋学期
科目登録における注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大学が一括登録を行う。各自での登録手続は不要。</li> <li>■プログラム参加者の秋学期の登録科目は「海外語学プログラム I」、「海外語学プログラム II」、「海外語学プログラム III」のみとなり、秋学期に他の科目を登録することは認められない。</li> <li>■「海外語学プログラム(英語) I・II・III」の開講年度・学期は「2025 年度・秋学期」だが、事前授業は 2025 年度春学期に実施される。科目登録の際、「海外語学プログラム(英語) I・II・III」の事前授業と他の春学期科目が、時間割重複または二校地間移動不可とならないよう十分確認すること。事前授業と他の春学期科目が時間割重複(二校地間移動不可を含む)を起こした場合、時間割重複した科目もしくは「海外語学プログラム(英語) I・II・III」のいずれかの科目は履修できない。</li> </ul>
備考	プログラム参加者は、現地での研修に加え、出発前に行われる 事前授業、帰国後に行われる 事後授業 の <u>すべてに必ず</u> 参加しなければならない。

=====**出願前に必ず読んでください**=====

■ **出願にあたっての注意事項**

- 参加決定後は、プログラム開始前・開始後ともに、**キャンセルは原則として認めません**。参加について十分に考慮し、ご父母等とよく相談した上で出願してください。参加決定後にキャンセルした場合、費用の払い戻しは行われません。費用納入前であっても、キャンセルに伴う費用を納入いただきます。
- **予定されている出発日に出発できなかった場合**、1 週間程度の遅れまでであれば、遅れて渡航することを認めます。ただし、次の事項を了承してください。(ご父母等にも必ず了承を得てください。)

- 予定されている出発日の旅行契約は、往路、復路とも、一旦取り消し(キャンセル)します。
- これにより、取消料が発生します。(取消料は旅行契約の解除の時期により異なります。)
- 新たな出発可能日において渡航するためには、改めて、往復個人航空券を購入する必要があります。手配は株式会社 JTB 京都支店が行います。
- このため、往路、復路とも、他のプログラム参加者とは別行動になります。
- 新規で購入する往復個人航空券の価格は、時価であり、複数の要因が複雑に絡み合っており変動するため、現時点では予測不可能ですが、予定通りに渡航した場合の航空運賃よりも割高になることが予想されます。
- 航空券は空席状況により手配可否が変動するため、希望通りの日程・フライトで手配が出来ない場合があります。
- 期待通りの成績評価が得られない可能性があります。
- 単位修得ができない可能性があります。

- 本プログラム期間中、本学と参加者は、大学付与のメールアドレスを使って連絡を取ります。大学付与のメールアドレスへ送信されたメールを確認しなかったことが原因で発生した不利益については当該学生自身にご対応いただきます。
- 本プログラム参加期間中は「在学」扱いであり、**プログラム参加費用とは別に本学への学費の納入が必要**です。参加について十分に考慮し、ご父母等とよく相談した上で出願してください。
- プログラム参加時の学年によっては、プログラム期間と就職活動の時期が重複する可能性があります。十分に考慮したうえで出願してください。
- 合格者数が最少催行人員に満たなかった場合、プログラムは実施されない可能性があります。参加者決定後、キャンセルにより参加者が最少催行人員を下回り、プログラムの開催が不可能となった場合も同様です
- プログラム出発前に、外務省の海外安全ホームページにて発表される感染症危険情報および危険情報「レベル 2: 不要不急の渡航は止めてください。」もしくはそれ以上が発出された場合、プログラムが中止となることがあります。その場合、納入いただいたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできないことがあります。また、現地の治安状況および世界情勢等によっては、プログラムが急きょ中止になる場合もあります。プログラム開始後であっても大学長による帰国勧告等が出された場合は帰国しなければなりません。  
外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- 参加にあたっては、研修先機関の規則および本学の定める誓約事項を厳守いただきます。
- 参加者の中からリーダー・サブリーダーを選出します。出発・帰国に際しては、参加者全員で団体行動をとります。単独行動は認められません。



## ■出願受付

受付期間	2025年1月6日(月)～1月23日(木) ※事務室開室時間に限る
出願資格	本学部在籍し、TOEFL-ITP435点以上、TOEFL-iBT41点以上 あるいは、IELTS Overall band score 4.0以上の者
提出書類	①本学部所定の願書<<写真貼付>> ②志望理由書【日本語と英語で記載のこと】 ③TOEFL、またはIELTSのスコア(コピー) ※過去2年以内に受験したものに限る
提出先	グローバル地域文化学部事務室 窓口

## ■選考試験(面接試験)

実施日時	2025年1月30日(木) 16時40分～
集合場所	志高館内の教室(詳細は出願時に連絡)
特記事項	・この選考試験と同日時に期末試験がある場合は、出願時に申し出ること。 ・面接終了時刻は受験者数によって前後するため未定。

## ■結果発表

発表日時	2025年2月7日(金) 0時～
発表場所	DUETメッセージ

## ■費用納入

参加費用の納入は複数回に分けて行います。具体的な納入金額と納入期限は、参加決定者へ別途連絡します。**ご父母等と参加費の支弁方法について十分相談の上で出願してください。**参加費用は、今後の世界情勢や外国為替相場の変動、またスケジュールや参加人数の変更等により変動する可能性があります。事情により金額不足が生じた場合は不足分を追加徴収します。逆に、実費が徴収した参加費を下回った場合は差額を返金します。なお、参加費には、状況の変動を見込み、予め数万円の予備費を含んでいます。

## ■奨学金

「海外語学プログラム(英語)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に参加し、合格評価を得た方を対象に下記の奨学金を用意しています。両奨学金ともに渡航1ヶ月前までを目処に、詳細を案内します。

同志社大学 海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金	
申請方法	出発前に Forms で申請(予定)(詳細は別途連絡)
支給額	20万円
支給時期	2026年4月頃(2025年度秋学期成績通知以後)
グローバル地域文化学部 海外語学プログラム(英語)合格者に対する奨学金	
申請方法	出発前に Forms で申請(予定)(詳細は別途連絡)
支給額	15万円
支給時期	2026年4月頃(2025年度秋学期成績通知以後)

## ■事前授業(2025年度春学期中に複数回実施)※2024年度実績:7回実施

事前授業では、英語と日本語が使用されます。

**プログラム参加者は、事前授業に必ず出席しなければなりません。**事前授業には、危機管理や渡航に関する説明会を含みます。

**事前授業は、土曜日に実施される可能性があります。**事前授業の曜日講時は、2025年度のシラバスで確認してください。

病気などで欠席する場合を除いて必ず出席する必要があります。事前授業に出席しない場合は、プログラムへの参加を認めないことがあります。その際発生するキャンセル料はご自身でご負担いただきます。

## ■事後授業(2025年12月実施予定)

**現地での研修を終えて帰国した後は、事後授業(成果報告会を兼ねる)への出席やレポート提出が義務付けられています。**

事後授業の曜日講時は、2025年度のシラバスで確認してください。

## ■成績評価(2026年3月発表)

最終的な成績は、事前授業、留学先での研修に対する評価、帰国後の事後授業、レポート等を総合的に評価して決定されます。

## ■TOEFL-ITP テスト

英語能力の自己点検のために、プログラム出発前、帰国後に本学内で実施する TOEFL-ITP の受験を推奨しています。なお、受験費用は自己負担ですのでご注意ください。

# プログラム紹介

※この内容は 2024 年度実施のプログラムに基づくものです。2025 年度実施プログラムの内容を約束するものではありません。

## ■研修地カラマズーについて

カラマズー（ミシガン州）は、シカゴとデトロイトのほぼ中間に位置する人口 73,000 人の小都市です。今プログラムの実施校であるウェスタン・ミシガン大学に加え、カラマズー大学があります。両校の学生と教職員でほぼ人口の半数を占める大学町です。古き良き中西部を思わせるダウントウンの街並みの外には森林や農耕地が広がり、五大湖付近の豊かな自然を感じる事ができます。シカゴとデトロイトへは鉄道または車で 3 時間程度と、利便性もよいです。研修期間となる晩夏から初冬にかけての気候は過ごしやすく、季節の移り変わりも楽しめます。

## ■研修実施大学について

本プログラムは、本学の協定大学でもあるウェスタン・ミシガン大学で学ぶ 1 セメスターの海外英語研修プログラムです。1903 年創立のウェスタン・ミシガン大学は、学生数が約 25,000 人の州立大学で、アメリカの公立大学トップ 100 にランキングされる中堅上位の実力校です。中でも、経営大学院、工学部、航空学部は全米トップレベルを誇ります。日本や東アジアからの留学生はあまり多くありませんが、日本語や日本文化への関心は高く、日本文化を紹介する曾我日本センターが付設機関としてあります。研修を受ける Center for English Language and Culture for International Students (CELCIS)は、40 年の歴史を誇る機関で、留学生に対して定評の高いプログラムを提供しています。

## ■研修内容

### Placement Testing

CELCIS will conduct an initial English language assessment in order to verify the students' ability levels and to place them in appropriate classes. This assessment will involve a writing sample, a grammar test, a reading assessment, and an oral interview. Students will be assigned to one of four levels through this placement testing process. A portion of the placement testing will take place virtually, prior to departure.

After learning their level, students will be placed into classes at the appropriate level for the 15- week term. They will be placed into these classes with other continuing and new CELCIS students and will begin classes.

### Program Contents

Students will participate in one 15-week term of the CELCIS program, consisting of 14 weeks of classes, plus orientation. For over 40 years, CELCIS has been known to offer the best in academic preparation for success in an American college or university setting. Our innovative curriculum develops Academic English skills through engaging courses and the best study materials.

All full-time students take 4 courses each term. Our instructors are MA holders or are completing their graduate degrees in Second Language Studies and thus bring a very professional and research-based approach to their classes. As shown on the schedule below, classes are 50 or 110 minutes long and meet Monday through Friday. Students will have an additional 10 hours per semester of Service Learning and also will attend a lecture-based "University Life" class, which will meet for ten 50-minute sessions during the semester, in the afternoon.

### WEEKLY SCHEDULE: Monday through Friday

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9 - 9:50	Reading/Writing I	Reading/Writing I	Reading/Writing II	Reading/Writing I	Reading/Writing II
10 - 10:50	Reading/Writing II				
11 - 11:50	Grammar/Comm.	Grammar/Comm.	Speaking/Listening	Grammar/Comm.	Speaking/Listening
12 - 12:50	Speaking/Listening				
Afternoons	Service Learning & University Life class, Conversation Circles, Campus Activities				

■ 宿泊先: 大学寮

■ 食 事: ミールプラン (ウェスタン・ミシガン大学内のダイニングセンターで提供されます。)

■ 同行員: 同志社大学の教職員や添乗員は同行しません。

■ 費 用

含まれる	往復航空券/航空保険料・燃油費/日本・現地空港諸税/海外旅行傷害保険料/プログラム費/ 査証の取得代行費用及び取得実費 ※プログラム費には、学費、大学寮とミールプラン、事務手数料、現地空港への送迎費用が含まれます。
含まれない	上記のほかは含まれません。参考のためにその一部を例示します。 超過手荷物料金/日本の空港に行くまでにかかる交通費/教材費/その他個人的な生活費用。

■ 査 証

本プログラムに参加するためには査証の取得が必要です。査証申請に必要な書類はウェスタン・ミシガン大学によって発行されます。